

【令和4年度 工事検査における注意事項等について】

工事検査時に注意事項は次のとおりです。今後の施工計画書、完成図書の作成及び施工管理等の参考としてください。

施工計画書、施工管理

1. 施工計画書、使用材料について

- ①. 施工計画書
 - a 共通事項
 - ・ 他工事の使い回しで現場条件、現場特性(工事特性)、設計図書を反映した施工計画書となっていない
 - ・ 追加工事着手前に変更施工計画書の提出がされていない(数量変更、工期のみの変更を除く)
 - ・ 営繕工事で総合施工計画書の提出はされているが、主要工事にもかかわらず、工種別施工計画書が作成提出されていない
 - b 計画(実施)工程表
 - ・ 工種毎の計画・実施が確認できない
 - ・ 適切な工程管理を行い工期内検査に努めてください
 - c 配置技術者等
 - ・ 主任(監理)技術者が下請け任せで、現場を良く把握できていない
 - ・ 主任(監理)技術者が現場代理人任せで、技術上の管理指導を誠実にやっていない
 - d 現場組織表及び施工体系図
 - ・ 施工体系図に記載すべき下請負業者が記載されていない
 - ・ 建設業で記載すべき下請負業者を建設業以外で記載している(建設業無許可業者、現場内のクレーン業者、コンクリート圧送業者、潜水業者等)
 - ・ 一次下請けの警備会社の施工体制台帳が提出されていない
 - e 安全管理
 - ・ クレーン等の作業計画書が作成されていない
 - ・ 作業主任者(特に特定化学物質作業)を配置していない
 - ・ 工事内容に応じた安全教育訓練の具体的な計画が作成されていない
 - f 施工方法
 - ・ 使用機械の規格、使用材料の規格寸法等が記載されていない
 - ・ 記載された施工手順と現場の施工方法が一致していない
 - ・ コンクリートの養生期間、脱枠の時期が記載されていない
 - ・ 「十分に施工する」「入念に締め固める」「入念りに施工する」などの表現は抽象的で詳細が分からない
 - g 現場の就業時間
 - ・ 就業時間の合計を記載してください。(就業時間＝作業時間＋休憩時間)
 - h 出来形管理計画
 - ・ 建設工事施工管理基準、建築工事監理指針等に基づいた管理が行われていない
 - ・ 施工規模、管理回数、管理測点等が記載されていない
 - i 品質管理計画
 - ・ 上記出来形管理計画に同じ。(施工規模で回数が変わるものは特に注意 現場密度試験など)
 - j 写真管理計画
 - ・ 建設工事施工管理基準、営繕工事写真撮影要領等に基づいた管理が行われていない
 - ・ 撮影回数、頻度が記載されていない
 - k 施工関係資料
 - ・ 区域内で特定建設作業を行っているが、特定建設作業実施届出書が未提出である
- ②. 使用材料について
 - ・ 建設資材使用報告書に、記載必須の資材(アスファルト合材・コンクリート・砕石類・コンクリート二次製品)は記載されているが、それ以外の記載任意の資材についても記載をお願いします
 - ・ 建設資材使用報告書、下請企業使用報告書の発注番号は、公告、契約変更申込書、入札執行通知書の番号を記載ください
 - ・ 県内品があるにもかかわらず県外品を使用している
 - ・ コンクリートの配合計画書に打設箇所、時期が記載されていない
 - ・ スペーサーの材料が分からない
 - ・ アスファルト、路盤材の品質証明期間が過ぎている
 - ・ 規格違いの材料の使用資材報告書が提出されている

2. 施工管理(出来形、品質、施工方法等)

- ①. 施工管理共通事項
 - ・ 建設工事施工管理基準、公共建築工事標準仕様書等に基づいた管理が行われていない
 - ・ 延長、基準高の管理をすべき工種で管理図表を作成していない
 - ・ 管理項目及び内容が施工計画書と実施が異なる
 - ・ 管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していない
 - ・ 管理測点が10点未満の場合、工程能力図及びヒストグラムは作成不要です
 - ・ 追加工事の資材の品質証明資料が提出されていない
 - ・ 出来形写真が多いので管理基準に沿って添付してください

②. 工種別

【土工】

- ・ 建設発生土の処理証明書がない
- ・ 路体、路床盛土で現場密度試験による管理が不足している
- ・ 埋戻し、盛土の仕上厚が確認できない

【地盤改良工】

- ・ 路床安定処理の生石灰数量が確認できない(出荷証明無、割付図無、空袋無)
- ・ 路床安定処理の現場密度試験の回数が不足している
- ・ FE石灰の出荷証明書が添付されていない
- ・ FE石灰の1層仕上厚20cm毎が確認できない

【コンクリート構造物】

- ・ 暑中コンクリート対策が確認できない
- ・ プラスチック製スパーサを使用している(土木工事)
- ・ 鉄筋のミルシート、ロールマークの写真がない
- ・ 打設高さ、一層当たりの厚み、バイブレーターの挿入深さ、間隔が確認できない
- ・ 鉄筋のかぶり厚が確認できない
- ・ コンクリートの品質管理で空気量試験、圧縮強度試験結果を示す値が写真で確認できないので、アップ写真をお願いします
- ・ コンクリートの供試体を採取した場所がわかる写真、現場養生を行っている写真がない
- ・ ジャンカ(豆板)、コールドジョイント等の不良箇所がある

【擁壁工】

- ・ 打設前の清掃が不十分であった(結束線、ビニールテープ等)
- ・ 擁壁の水平打継目の処理が不適切だった
- ・ L型擁壁の水抜き設置が3㎡に1箇所以上設置されていない(宅地造成)
- ・ L型擁壁の止水コンが確認できない(宅地造成)

【石・ブロック積工】

- ・ 補強土壁の裏面排水延長が確認できない
- ・ 大型ブロック積において、吸出し防止材の設置のタイミングが不適切で目詰まりしている
- ・ コンクリートブロックの合端が広い場合、型枠を設置することなくコンクリート打設を行っている

【排水構造物工】

- ・ 集水桝の底張り厚の確認ができない
- ・ 側溝の現場打ち部の鉄筋が確認できない
- ・ 製品の外観検査を行った記録がない
- ・ PCグラウトの品質管理に不足がある
- ・ 集水桝蓋のボルト締付が行われていない
- ・ 製品の切断箇所に適切な処置(防錆)がされていない(鉄筋に錆がある)

【貯水槽設置工事】

- ・ 水張試験を実施していない
- ・ 現場塗装の塗膜厚が確認できない

【構造物撤去工】

- ・ ガードレールの撤去資材が適切に処理されていない

【舗装工】

- ・ 路面切削工で現舗装高切削後の基準高の差で厚さが算出されていない
- ・ アスファルト量抽出粒度分布試験が行われていない
- ・ 乳剤の散布量の管理がない、構造物端部、施工継目への塗布が確認できない
- ・ 天候に関係なく雨天(降雪)日にアスファルトの舗設されている
- ・ 上層路盤面の浮石、有害物、落葉等を除去してからの施工が確認できない
- ・ すべり止めカラー舗装の使用量が設計数量以上使用されているか確認できない(空缶、使用量計算)
- ・ コア削孔時の泥水処理が不適切である
- ・ 水溜まりが来ている

【区画線工】

- ・ 使用量が設計数量以上使用されているか確認できない(空缶、使用量計算)

【防護柵工】

- ・ 製品を直置きして保管している
- ・ 削孔時の泥水処理が不適切である
- ・ ガードレール補強筋の配筋状況が確認できない

【橋梁工事】

- ・ 工場製作、架設工事の施工方法が不足している
- ・ 工場製作時の塗膜厚、現場塗装の塗膜厚、高力ボルト部の塗膜厚が確認できない
- ・ 上部工においてシュミットハンマー、ひび割れ調査を行っていない
- ・ 高欄のアンカーボルトの定着が不足している
- ・ 橋面防水材の使用量管理がない(使用量計算、空缶等)

【上下水道工事】

- ・ 水圧試験で日時確認のための時計は、時間調整ができる時計を使用せず、電波時計等を使用してください
- ・ 管の接合手順が写真で確認できない
- ・ 仮舗装の乳剤散布が均一でない
- ・ 敷設前の管材の保管が不適切(道路敷にそのまま)

【営繕工事(建築)】

- ・ 塗装工事、防水工事、外壁改修工事等で設計数量以上使用されているか確認できない
- ・ 鉄筋工で型枠完了時にかぶり厚、スぺーサの設置数が確認できない
- ・ 外壁改修における鉄筋爆裂補修のポリマーセメント1層毎の厚みが確認できない
- ・ 床下防湿層、塗膜防水の重ねしろ寸法が確認できない
- ・ コンクリートの現場水中養生の状況確認ができない
- ・ 保全に関する資料の提出がない
- ・ 木材の含水率測定結果がない
- ・ 使用するプライマーの種類が異なっていた(塩ビ用じゃなく、コンクリート用を使用)
- ・ 塗装部にダレ、ピンホール、剥がれがある

【営繕工事(電気)】

- ・ 電気、機械設備の試運転報告書が作成されていない
- ・ 接地工事において、接地極の埋設深さが確認できない
- ・ 建築設備機器の設置でアンカーボルトの耐震計算書と異なる施工をしている
- ・ 制御盤、配電盤、ハンドホール等内の配線に行き先札の設置が付いていない
- ・ 高圧ケーブルの端末処理方法が確認できない

【営繕工事(機械)】

- ・ 気密試験等の日時確認のための時計は、時間調整ができる時計を使用せず、電波時計を使用してください
- ・ 機器の搬入確認を施工場所で行っていない
- ・ ダクトのガスケット重ね幅、フランジクリップの状況が確認できない
- ・ 保温工事について、施工方法、出荷証明、品質証明が不足している

【営繕工事(解体)】

- ・ 浄化槽部など段階的な埋戻しが確認できない
- ・ 解体工事で、地表面にコンクリート塊、アスファルト塊が残っている

建設廃棄物及び建設廃棄物に関すること

- ①. 建設廃棄物処理委託契約
 - ・ 廃棄物の契約漏れがある。(追加工事等)
 - ・ 収集運搬・処理を下請負契約と建設廃棄物処理委託契約書の両方で契約している【二重契約】
 - ・ 工期延長に伴う契約変更が行われていない(契約期間外に収集運搬・処分を行っている)
- ②. マニフェスト
 - ・ リサイクル家電を適正に処理していない
 - ・ 廃棄物の処理フロー図が提出されていないまた、契約内容が処理内容と異なる
- ③. 再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書
 - ・ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表の合計数量と「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)の再生資源利用促進実施書(様式2)との数量が一致しない(設計数量でなく実施処理数量を記載)
 - ・ 「建設副産物情報交換システム」(COBRIS)の登録がされていない
- ④. 特別管理産業廃棄物
 - ・ PCB(ポリ塩化ビフェニル)を使用した機器を適切に処理したか確認できない
- ⑤. 再生資源等報告書
 - ・ 特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、建設発生木材A、アスファルトコンクリート塊)以外の記入がされている

建設業退職金共済組合に関すること

- ・ 加入労働者数報告書が提出されていない(辞退届は使用しない)
- ・ 掛金充当実績総括表が確認できない

施工体制台帳に関すること

- ・ 主任(監理)技術者の資格者証、実務経験年数、雇用を証明する書面が確認できない
- ・ 下請業者の作業成果の確認が書面で行われていない

作業日報に関すること

- ・ 巡視記録等の安全活動が記録されていない
- ・ 下請業者との打合せ事項が記録されていない(確認サイン、指示事項等)

コリンズ登録に関すること

- ・ コリンズの登録工種に誤りがある。(舗装工事は土木一式ではない)

段階確認に関すること

- ・ 立会確認の手続きを事前に行っていない(概ね1週間前に行くこと)
- ・ 営繕工事で施工の各段階における完了時の確認がされていない

工事打合せ簿に関すること

- ・ 創意工夫について実施する前に協議を行っていない
- ・ 地下埋設物、架空線等について、調査結果の提出がされていない

対外関係に関すること

- ・ 塗料缶が指定数量を超えているにもかかわらず、「仮貯蔵、仮取扱承認申請書」を提出していなかった
- ・ 地域住民(自治会)への周知を十分行わず工事を実施した。